

Annual Report 2024



事業報告
公益財団法人
PHD協会

2024
2024.4 - 2025.3





事業報告

公益財団法人
PHD協会

2024

2024.4—2025.3

研修	P.2-6
居住支援	P.7-8
広報・啓発	P.9-13
組織運営	P.14-15

Annual Report 2024

理事長挨拶

理事長 水野 雄二



いつもPHD協会へのご支援に感謝申し上げます。2024年度はほぼコロナ禍以前の活動に戻り、充実した1年を過ごすことができました。インドネシアとミャンマーから、2名の若い研修生を迎え、実りある研修の時を過ごしました。その成果は3月の帰国報告会で共有され、2名は無事に帰国し、新しい歩みを始めています。また、「みんなのいえ」では当年度も困難に直面する在住外国人を多様に支え、特に難民事業本部との連携で、難民申請中のコンゴ出身家族を支援。また食料配布会も回数を重ねました。

2025年度は初めてネパールからの聴覚障害者を研修生として受け入れ、ミャンマーからの研修生も招聘しています。今後も居住支援、多文化共生の働きを進め、私たちにできる「平和への働き」を強めていきます。これからの歩みにも更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局報告

常務理事・事務局長 坂西 卓郎



2024年度は、第40期生としてミャンマーから孤児院の先生であるミーミーさん、インドネシアから協同組合のメンバーであるチャチャさんをお迎えし、研修事業を実施しました。これまでに招いたのは337名となりました。これもお支えいただいている皆さまのご支援、ご協力のおかげです。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

国内における居住支援では、難民事業本部との連携のもと、コンゴ民主共和国出身で、難民申請中のご家族4名を受け入れ、自立に向けた伴走支援を行いました。さらに、県内の社会福祉協議会とも連携が進み、私たちの活動が地域のセーフティネットとしての役割も果たすことができています。

今後も、「国際研修事業」と「国内での居住支援・多文化共生事業」という二本柱を軸に、活動を継続してまいります。引き続き、皆さまのご参加とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第40期研修生

2024年度は、第40期国際研修生として、ミャンマーから孤児院の教員であるミーミーさん、インドネシアから協同組合の若手メンバーであるチャチャさんを受け入れました。

インドネシアからのチャチャさんは、地域の協同組合に所属する若手リーダーとして、村の活性化および地域振興を目的に来日しました。研修では、日本の農業や食品加工の現場を訪問・体験しながら、地域づくりに必要な知識と技術を学びました。

ミャンマーからのミーミーさんは、400名以上の子どもたちが暮らす僧院併設の孤児院にて、教員として日々子どもたちの生活と学びを支えています。日本での研修では、教育支援や児童養護の現場を見学・学習し、多くの示唆を得ました。

特にミャンマーでは、国内の混乱が続く中、将来を担う子どもたちへの教育支援の重要性が一層高まっています。こうした状況下において、意義ある研修を実施できたことは、研修指導者の皆さま、そしてボランティアの皆さまのご支援の賜物です。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

共通研修

4月～5月

日本語研修(神戸YMCA学院専門学校/兵庫県神戸市)

日本語研修(日本語ボランティア/兵庫県神戸市)

10月

口腔衛生研修(浜地律知さん/兵庫県神戸市)

防災研修(阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター/兵庫県神戸市)

11月

口腔衛生研修(浜地律知さん/兵庫県神戸市)

12月

口腔衛生研修(浜地律知さん/兵庫県神戸市)

1月

口腔衛生研修(浜地律知さん/兵庫県神戸市)

2月

口腔衛生研修(浜地律知さん/兵庫県神戸市)

釜ヶ崎研修(旅路の里/大阪府大阪市)

残留農業・共生研修(淡路島モンキーセンター/兵庫県洲本市)

協同組合研修(コープこうべ協同学苑/兵庫県三木市)

保健衛生研修(三木市総合保健福祉センター/兵庫県三木市)

アクションプラン(行動計画)作成研修(PHD協会/兵庫県神戸市)



来日直後の日本語研修
(神戸YMCA学院専門学校)



保健衛生研修
(三木市総合保健福祉センター)



アクションプラン(行動計画)作成研修
(PHD協会)

失礼ながら研修先の団体様につきまして、敬称を省略させていただきました。

チャチャさん

出身国：インドネシア

研修テーマ：協同組合、農業、食品加工

宗教：イスラム教



食品加工研修でパンを作ったチャチャさん



食品加工研修で干し芋作りをする様子

4月～2025年3月 滞在/宝田正和さん、てるみさん

6月

保育研修(神戸YWCA保育園/兵庫県神戸市)

保育研修(友愛幼児園/兵庫県神戸市)

7月

農業研修(てらだ農園/兵庫県豊岡市)

農業研修(中野農場/兵庫県丹波市)

9月

保育研修(はらっぱ保育所/兵庫県西宮市)

10月

農業研修(Ti's farm/兵庫県神戸市)

11月

食品加工研修(ワークセンターわかまつ/兵庫県神戸市)

12月

食品加工研修(くららベーカリー/兵庫県神戸市)

1月

食品加工研修(てらだ農園/兵庫県豊岡市)

2月

食品加工研修(丹波篠山梅角堂/丹波篠山市)

食品加工研修(小田垣商店/兵庫県丹波篠山市)

食品加工研修(Ti's farm/兵庫県神戸市)

ミーミーさん

出身国：ミャンマー

研修テーマ：保健衛生、教育

宗教：上座部仏教



学校教育研修で自己紹介をするミーミーさん



人権学習で高校生とディスカッションをする様子

4月～2025年3月 滞在/古谷正人さん、さつきさん、真梨奈さん

6月

保育研修(はらっぱ保育所/兵庫県西宮市)

7月

児童福祉研修(社会福祉法人神戸真生塾/兵庫県神戸市)

8月

児童福祉研修(アムニティホーム ルピナス高砂/兵庫県高砂市)

児童福祉研修(社会福祉法人神戸真生塾/兵庫県神戸市)

9月

人権学習(NPO法人えんばわめんと堺@大阪府立長吉高等学校/大阪府堺市)

学校教育研修(愛徳学園中学校・高等学校/兵庫県神戸市)

10月

学校教育研修(淡路市立石屋小学校/兵庫県淡路市)

学校教育研修(淡路市立多賀小学校/兵庫県淡路市)

11月

学校教育研修(高砂市立阿弥陀小学校/兵庫県高砂市)

12月

ハンディキャップケア(社会福祉法人竜山会ステップハウス/兵庫県高砂市)

児童福祉研修(社会福祉法人神戸少年の町/兵庫県神戸市)

1月

児童福祉研修(アムニティホーム ルピナス高砂/兵庫県高砂市)

2月

インクルーシブ教育研修(山梨YMCA/山梨県甲府市)

学校教育研修(山梨英和中学校・高等学校/山梨県甲府市)

2024年度研修旅行

東日本研修旅行 2024年11月5日～11月9日

東京都/全日本自動車産業労働組合総連合会、日本労働組合総連合会、ユニセフハウス、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
山梨県/山梨YMCA、山梨英和中学校・高等学校
岐阜県/中濃教会



全日本自動車産業労働組合総連合会にて



日本労働組合総連合会にて

西日本研修旅行 2025年1月22日～1月30日

鹿児島県/だるま保育園

熊本県/水俣市立水俣病資料館、一般社団法人きぼう・未来・水俣、国立療養所菊池恵楓園

福岡県/北九州市立祝町小学校、アジアを考える会・北九州、世界平和パゴダ、タカミヤ環境ミュージアム

山口県/岩国みなみワイズメンズクラブ

広島県/広島平和記念資料館、原爆ドーム、一泰治さん、平和記念公園



福岡県/北九州市立祝町小学校にて



山口県/岩国みなみワイズメンズクラブにて



福岡県/アジアを考える会・北九州にて



広島県/平和記念公園にて

アクションプラン（活動計画）

個別研修と共通研修を終えた後、40期研修生2名は帰国後を見据えたアクションプラン（活動計画）作りに取り組みました。次の図は研修生の出身地域での課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。日本での専門研修と共通研修で得た様々な学びと気づきが盛り込まれており、この計画は研修生自らが地域で活動していく上での指針となります。



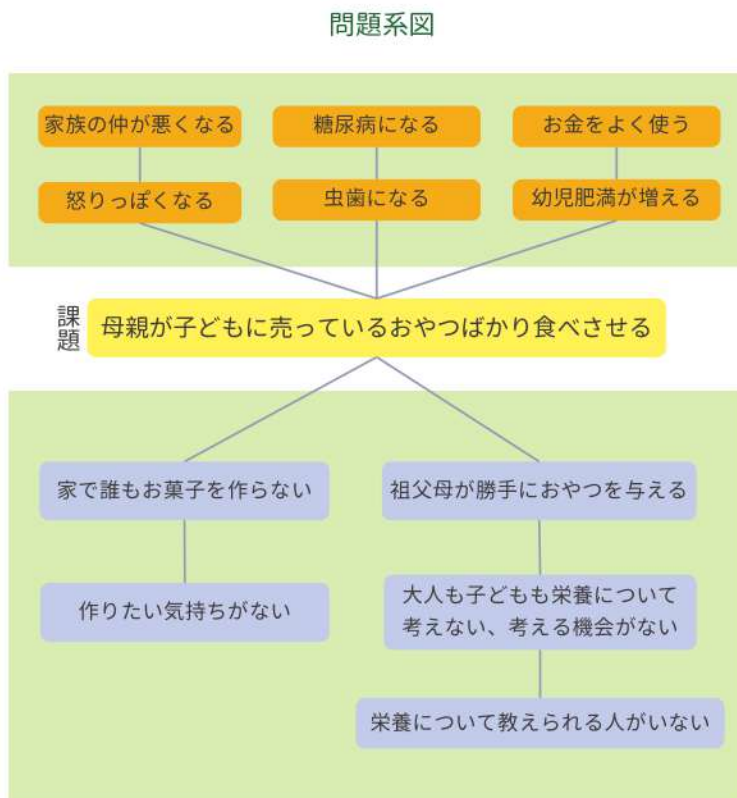
チャチャさんの アクションプラン



健康なおやつは未来への第一歩

タベ村の子ども達の健康を常に心配しているチャチャさん。外国から入ってくる有害なお菓みに代わり身体に優しい自然なお菓子を何とか子ども達に食べさせたいとの思いでお菓子作りやパン作りを学ぶことができました。チャチャさん自身も食生活には普段から注意を払っており、村が虫歯や糖尿病の蔓延から脱却すること、そして子ども達が有害なお菓みに囲まれる環境を変えることを願っていました。まずは村の若いお母さん達に健康なおやつがどれほど大切かを説き、一緒に健康なお菓子を作ってみるところからスタートさせたいと語るチャチャさん。夢は、タベ村の子ども達の健康な未来です。

課題に起因する問題



ミーミーさんの アクションプラン



子どもたちの進路をサポートしたい

ミーミーさんは僧院学校の子どもたちに自分の進路を選択できる能力を培う機会を多く提供していきたいと考えています。教育施設の研修では子どもが本と触れ合うことで多くの知識を得ていることに気づき、読書の重要性を学びました。また児童養護施設の研修では、卒業後の進路に対するサポートの手厚さを知り、子どもたちの進路のサポートについて考えるようになりました。子どもたちが読書や実技教科を通して、一つでも多くの経験や知識を得て、自分の進路を考えることができる環境を僧院学校で整えていきたいというのがミーミーさんの夢です。

課題に起因する問題



選考・フォローアップ・調査

2024年度はミャンマー、ネパールを訪問しました。PHD協会のフォローアップでは、直接訪問し、出会い、対話することを重視しています。今回のフォローアップでも元研修生を中心に多くの人たちと出会い、対話することができました。

選考においてはミャンマーでは、僧院学校の先生10名を対象に実施しました。「教育の力で平和を」、混乱の極みにあるミャンマーのためにできるPHD協会の取り組みとしてPeace研修生3人目となるピューピューさんを選考することができました。

ネパールではカトマンズ聴覚障害者協会の協力を得て、聴覚障害のある若者たち15名を対象に実施することができました。PHD協会として新しい挑戦である聴覚障害のある研修生招聘のため2回訪問し、男女各1名を研修生として選出することができました。選考は手話を通じて実施したので、音はありませんでしたが、強い期待がもたらす熱気に溢れた選考でした。

訪問国	日程
ミャンマー	2024/6/23～6/30
ネパール	2024/8/29～9/6 2024/10/5～10/10



選考を実施したミャンマーの僧院学校にて



ミャンマーの僧院学校で面接をする様子



ネパールの元研修生と再会



第41期研修生ルビーさん家庭訪問の様子



選考を実施したネパールの聴覚障害者の皆さんと

第41期研修生の選考結果

ミャンマー、ネパールの2か国で第41期研修生の選考を実施しました。2025年度は3名が研修生として来日することになりました。

ミャンマー

応募者の出身地域	ザガイン・シンテッ村
選考結果	 ピューピューさん (36歳)

ネパール

応募者の出身地域	カトマンズ
選考結果	 ウルゲンさん (28歳)

ネパール

応募者の出身地域	バクタプル
選考結果	 ルビーさん (23歳)



国際協力・交流シェアハウス



国際協力・交流シェアハウス
「みんなのいえ」は、困窮外国人の方や難民申請者の方が自立するための準備をする一時的な居住スペースです。

居住者内訳	滞在期間	滞在日数	出身国	人数
	7月19日～8月16日	29日	ベトナム	1名
	8月20日～9月11日	23日	インドネシア	1名
	9月13日～11月1日	50日	コンゴ民主共和国	4名
	12月6日～1月31日	57日	ミャンマー	1名
	2月10日～3月11日	30日	アメリカ	1名
合計		189日	5か国	8名

シェアハウス入居者以外の居住支援

みんなのいえ入居者以外への居住支援としては、延べ18名からの相談を受け、情報提供や不動産屋の紹介、内見の同行、引越しに伴う水道や電気・ガスの手続きなどに対応しました。

国籍の内訳

コンゴ民主共和国	日本（フィリピンルーツ）	ボリビア	ミャンマー	米国	
4名	4名	2名	2名	1名	
インドネシア	カメルーン	バングラデシュ	ベトナム	ヨルダン	合計
1名	1名	1名	1名	1名	18名

在留資格の内訳

特定活動	日本国籍（フィリピンルーツ）	留学	定住者	技術・人文・国際業務	仮放免	教育	合計
6名	4名	3名	2名	1名	1名	1名	18名

相談支援・同行支援、日本語指導

《相談支援》

就労と居住を除く生活に関する相談と同行支援を含む延べ283件の支援を実施。具体的な支援内容は、行政手続きや在留資格の更新・生活保護申請のサポート、銀行や児童館への同行など多岐にわたりました。尚、公式LINEの活用は予算の都合上実施しませんでした。食料配布会に通訳者を配置するなど、相談者が安心して相談できる環境づくりに取り組みました。

国籍の内訳

コンゴ民主共和国	リビア	シリア	日本（フィリピンルーツ）	ウクライナ	カメルーン	インドネシア	ミャンマー	バングラデシュ	イエメン
84名	49名	37名	24名	19名	18名	11名	11名	7名	4名
パキスタン	ネパール	ベトナム	ヨルダン	ガンビア	アメリカ	タイ	タジキスタン	中国	合計
4名	3名	3名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	283名

在留資格の内訳

特定活動	家族滞在	日本国籍（フィリピンルーツ）	特定技能	留学	仮放免	
139名	73名	24名	11名	10名	8名	
技術・人文・国際業務	第三国定住	経営・管理	帰国	介護	教育	合計
5名	5名	4名	2名	1名	1名	283名

《日本語指導》

主に重点支援対象者を対象に延べ132件の日本語指導を実施しました。今後日本での滞在が長期化するであろう難民申請中のコンゴ民主共和国出身の家族に対し、ゼロ初級レベルの日本語クラスの実施や他団体の日本語学習プログラムの登録に同行しました。さらに、専属の日本語教師に加え、梅光学院大学からのインターン生やボランティアの方と協力し、タジキスタン人女性とその子どもに週1回ずつ授業を行い、漢字のフォローアップ等を行いました。



日本語指導の様子

国籍の内訳

タジキスタン	アフガニスタン	コンゴ民主共和国	カメルーン	イエメン	ベトナム	ミャンマー	合計
56名	35名	21名	15名	2名	2名	1名	132名

在留資格の内訳

家族滞在	特定活動	技術・人文・国際業務	特定技能	留学	合計
91名	38名	1名	1名	1名	132名

食料支援

2024年度はフードバンク関西やコープこうべからの定期的な食料受け取りに加え、支援者からの寄贈、神戸まちづくり六甲アイランド基金の助成金を活用し、延べ708名の外国人に食料・生活物資支援を行いました。神戸まちづくり六甲アイランド基金の助成金では、買い物の同行を伴った購入支援や2か月に1回食料配布会を実施しました。食料配布会では、毎月約80名の外国人に食料や日用品を届けるとともに、通訳者を介して生活に関する情報提供を行いました。



食料配布会の様子

国籍の内訳

ネパール	ミャンマー	アフガニスタン	タジキスタン	コンゴ民主共和国	スリランカ	バングラデシュ	ウクライナ	カメルーン	リビア
209名	121名	66名	55名	48名	46名	43名	33名	25名	20名
ウズベキスタン	ガンビア	フィリピン	韓国	インドネシア	中国	ベトナム	タイ	ヨルダン	合計
12名	7名	7名	6名	3名	3名	2名	1名	1名	708名

在留資格の内訳

留学	家族滞在	特定活動	第三国定住	技術・人文・国際業務	仮放免
351名	129名	116名	55名	19名	16名
永住者	特別永住者	特定技能	日本人の配偶者等	技能実習	合計
5名	5名	4名	4名	4名	708名

就労支援

《就労支援》

登録支援機関としての就労支援は社会福祉法人いたみ杉の子（伊丹市）で働くメキシコ人男性に継続して行っています。その他、留学生へのアルバイト情報の提供やシェアハウスに入居したインドネシア人の転職先探しとして、ハローワークへの同行を行いました。

国籍の内訳

コンゴ民主共和国	スリランカ	ウクライナ	インドネシア	ウズベキスタン	メキシコ	合計
4名	3名	2名	1名	1名	1名	12名

在留資格の内訳

特定活動	特定技能	定住者	留学	合計
8名	2名	1名	1名	12名

《登録支援機関としての就労支援》

2024年度は1名に対して特定技能「介護」での就労支援を行いました。

・社会福祉法人いたみ杉の子（伊丹市）/メキシコ人男性



相談風景



講演・交流会

2024年度も各地で講義・講演会を行い、3,325名の方にご参加いただきました。

＜講演・交流会＞

神戸親和大学、川西ロータリークラブ、篠山ロータリークラブ、甲南女子大学、神戸市シルバーカレッジ、奨学生・学友研修交流会、第40期研修生来日報告会、同志社女子大学、梅光学院大学、いなみ野学園大学院、神戸学院大学、令和6年度国際協力セミナー国際協力の架け橋～自治体、地域、NPO/NGOとの協働の未来～、三田ロータリークラブ、大阪YMCA、コープミニ御影北店、かめのり塾、ウクライナ避難民とつくるUKRAINE DAY、芦屋ロータリークラブ、明石城西高等学校、青年海外協力隊兵庫県OB会、尼崎北ロータリークラブ、関西学院大学、中濃教会、ロータリー米山記念奨学会、全日本自動車産業労働組合総連合会、日本労働組合総連合会、山梨英和中学校高等学校YWCAひまわりクラブ、山梨YMCA・山梨PHDグループ、岡山大学、和田山高校、ESD実践研究集会、神戸西ワイズメンズクラブ、尼崎プロバスクラブ、関西NGO協議会、京都女子高校、だるま保育園、一般社団法人きぼう・未来・水俣、アジアを考える会北九州、祝町小学校、岩国みなみワイズメンズクラブ、ミャンマー祈りの会、明石清水高等学校、CSOのゆるやかなネットワークをつくる会 in 関西、加東市連合婦人会、Nピボランチ会、第44回RYLA報告会、HYOGOロータリーEクラブ、第40期研修生帰国報告会

＜敬称略＞

書き損じハガキ等の収集

2024年度にご寄付いただいた収集物の換金・相当額は80万円を超えました。

収集物の相当額・換金額集計（単位：円）	
書き損じ及び未使用ハガキ	204,411
未使用切手	366,975
外貨コイン・使用済み切手	76,000
未使用テレホンカード	20,500
外貨紙幣	33,303
ハチドリ電気（支援者：2,051名）	112,776
合計	813,965



ボランティアとの協働

PHD協会の活動に、1年を通じて118名の方々がボランティアとして関わってくださいました。

ボランティア参加者数	
日本語復習	87名
事務所作業補助	20名
食料配布会	9名
イベント	2名
合計	118名

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会会員、法人会員を含めて766名となりました。継続したご支援、新たな方からのご支援をいただけるよう、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開していきます。

	新規会員数 （実績）	2024年度末 の会員数	前年度末 からの増減
終身維持会員	2名	212名	±0名
PHD会員	5名	365名	+7名
友の会会員	3名	139名	+2名
法人会員	1団体	6団体	+1団体
マンスリーサポーター	18名	44名	+11名
合計	28名 1団体	760名 6団体	+20名 +1団体

※会員情報の整理・更新を行った結果を反映しています。

法人会員の団体様



他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHDの活動を幅広く紹介しました。

＜共催・参加イベント＞

- 4月 NGO・外務省定期協議会NGO側「連携推進委員会」、多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー実行委員会、2024学年度米山記念奨学生オリエンテーション、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、さんだ多文化ふくふくネットワーク会議、第44回RYLAセミナー（青少年指導者育成セミナー）、NGO Lunch Talk、関西NGO協議会お花見、HYOGON運営委員会、手話しゅわマルシェin京都、NGOピボットインタビュー第5回、兵庫県ユニセフ協会「2024国際理解講座①ミャンマーの子どもたちの願い～彼らの置かれた現状」、六甲ウィメンズハウス行政・関係機関説明会
- 5月 神戸YMCA大会実行委員会、西区社会福祉協議会アウトリーチ（タブコラ）、HYOMIC幹事会、さんだ多文化ふくふくネットワーク会議、関西NGO協議会総会、HYOGON監査、NGO神戸外国人救援ネット総会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、株式会社オルタナティブツアーセーフトラベルセミナー、JANICミャンマーワーキンググループ、One World Festival for Youth 会議、大阪YMCA評議員会、HYOGON運営委員会、コープともしびボランティア振興財団理事会、公益法人NGO連絡会
- 6月 神戸YMCA大会実行委員会、NGOインターン・プログラムオリエンテーション、移住連全国フォーラムWS in大阪、神戸YMCA評議員会、コープこうべ総代会、伊川谷自治会訪問（タブコラ）、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会・総会、資金分配団体の公募助成（通常枠）説明会、神戸YMCA大会実行委員会
- 7月 神戸YMCA大会実行委員会、キフDIYプログラム同窓会、ウクライナ避難民地域共想事業助成金説明会、リハ協カフェ、NGO-JICA協議会監査、神戸YMCA大会国際委員会第1回、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、JANICミニNGOセミナー、NGO-JICA協議会NGO会議総会、2023-24年度米山記念奨学セミナー、HYOMIC新旧幹事歓迎会、多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー実行委員会、兵庫県聴覚障害者協会手話出前講座
- 8月 居住支援シンポジウム、第21回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー、令和6年度第1回地域国際化推進アドバイザー意見交換会、JANICランチタイム会員交流会、令和6年度居住支援委員会拡大会議、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、HYOGON三役会、NGOスタッフランチ会、NGO等提案型「多文化ソーシャルワーク講座」、西宮市居住支援意見交換、多文化センターまんまるあかし開所式、神戸NGO協議会、兵庫手話普及促進手話講座
- 9月 2024年度第1回NGO-JICA協議会、N:PIVONGOスタッフランチ会、神戸YMCA評議員会、フィンランド手話イベント、大阪YMCA評議員会、NGO-JICA勉強会「草の根に提案を検討されている団体の皆様にに向けた事例紹介」、令和6年度「若人の賞」贈呈式、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会
- 10月 連合愛のカンパ贈呈式、まなびと見学会、ひょうご・みんなで支え合い基金企画会議、ひょうごコミュニティ財団助成金部会、ひょうごコミュニティ財団市民活動大交流会、第23回多文化WAIWAI親子デイキャンプ、大阪YMCA評議員会、JICA関西秋まつり、HYOGON兵庫県知事選候補者公開討論会、居住支援事業居住支援研修会、HYOGON賀詞交歓会会議
- 11月 NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、フードバンク関西、西宮市協力居住支援法人登録制度に関する説明会、大阪YMCA大会2024、Friendship Day in Sanda、ぐるっとワールドMiki、HYOGON賀詞交歓会実行委員会、HYOMIC幹事会、神戸YMCA国際委員会
- 12月 ひょうごコミュニティ財団理事会、わたしたちの難民問題2024vol.25「ミャンマーで何が起きているのか」、多文化共生セミナー打合せ、兵庫県ユニセフ協会評議員会、神戸YMCA街頭募金、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、神戸NGO協議会、HYOGON運営委員会、国際協力NGOの多文化共生領域への活動拡大、多言語センターFACILウクライナパーティー
- 1月 ひょうご福祉ネット居住支援連絡会、HYOGON運営委員会、HYOMICユース、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会
- 2月 川西市社会福祉協議会多文化共生パートナー養成講座、NGO神戸外国人救援ネット理事会、NPO関連予算公開ヒアリング、NGO-JICA 勉強会「NGOの成長を考える」、丹波市外国人生活相談会、フードバンク関西、2026学年度米山記念奨学事業学校説明会、HYOGON三役会
- 3月 NGOインターン・プログラム成果報告会、米山奨学生歓送会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、NGO-JICA協議会、第4回「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会、神戸YMCA国際委員会、HYOMIC研修会、HYOGON運営委員会、ひょうごコミュニティ財団助け合い基金審査会、神戸YMCA評議員会（理事会合同）、（公財）コープともしびボランティア振興財団理事会、大阪YMCA理事会・評議員会、NGO-JICA 勉強会「NPO、NGO、外国人支援者とJICAの協働による国内貢献（外国人材受入・多文化共生領域）」、フードバンク関西

＜敬称略＞

＜他団体への運営協力＞

一般財団法人自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー
 学校法人大阪YMCA 評議員
 兵庫ユニセフ協会 評議員
 公益財団法人神戸YMCA 評議員・国際委員・大会実行委員
 公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 理事
 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 理事・審査委員
 神戸NGO協議会 代表
 多文化共生のための国際理解教育・開発セミナー 運営委員
 特定非営利活動法人NGO神戸外国人救援ネット 理事・運営委員
 西日本地区入国者収容所等視察委員会 視察委員
 兵庫・国際協力同士の会（HYOMIC） 幹事
 ひょうご市民活動協議会（HYOGON） 代表



日本労働組合総連合会 「愛のカンパ」贈呈式にて

広報物



事業報告2023



会報156号



会報157号



会報158号



with Myanmar 別冊(7月号)



with Myanmar 別冊(12月号)



with Myanmar 別冊(3月号)



ミャンマー大震災緊急支援チラシ



会員募集チラシ



研修生チラシ



カレンダー・年末募金



居住支援チラシ



メディア活動

PHDの活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。

SNS

Facebook、Instagram、YouTube、X(旧:Twitter)

新聞

神戸新聞(8回)、毎日新聞(1回)、山梨日日新聞(1回)

他団体会報、マスコミ出演等

旅路の里ニュースレター、ACT年次報告2022、きょうどう2025年2月号、国際協力とNGO(発行:外務省国際協力局NGO協力推進室)

〈敬称略〉

Facebook(いいね)	2,553
Instagram(フォロワー)	1,124
X(フォロワー)	498
YouTube(チャンネル登録者)	82

(2025年3月31日現在)



Instagram
研修生活動紹介



Instagram
居住支援事業 相談事例紹介



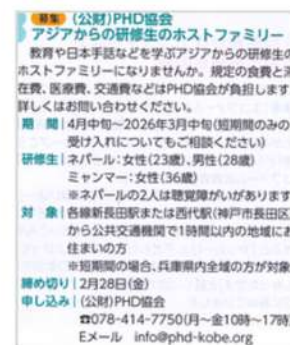
Instagram
みんなのいえ便り



Instagram
ミャンマー大地震緊急支援



国際協力とNGO
(発行:外務省国際協力局NGO協力推進室)



2025年2月
こーぷこうべ きょうどう



2024年5月14日毎日新聞



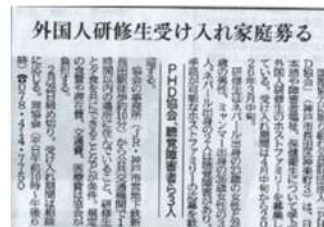
2024年9月25日神戸新聞



2024年10月2日神戸新聞



2024年10月14日神戸新聞



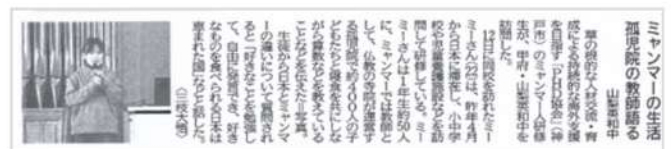
2025年1月13日神戸新聞



2025年3月31日神戸新聞



2025年3月7日神戸新聞



2025年2月20日山梨日日新聞

第25期国内研修生

国内における人材育成を目的として、2024年度は国内研修生を1名受け入れました。



家本 康ゆに さん
(大学生)

活動期間

2024年4月19日～2024年8月8日

活動内容

研修業務、居住支援業務、広報・啓発業務



来日報告会で司会をする様子



外国人の相談対応をする様子

JICA NGO等活動支援事業 NGO等提案型プログラム

NGO等提案型プログラム「多文化共生に資するコンサルテーションを通じたNGO等の能力強化プログラム」（通称：タブコラ事業）を開始しました（事業期間：2024年4月～2026年5月、共同実施団体：特定非営利活動法人エフエムわいわい）。本事業では、在住外国人を取り巻く課題の改善と多文化共生の推進を目指し、以下三つのプログラムを実施しています。

プログラム① 多文化共生に関わるNGO等の能力強化

プログラム② 外国人が安心して医療にアクセスできる多機関ネットワークの構築

プログラム③ 社会福祉分野と多文化共生分野の連携の促進



川西市社会福祉協議会の皆さまと



丹波市 外国人の医療アクセスを改善するための多機関ネットワーク準備会

プログラム	活動	対象/参加団体	実績
プログラム①	アウトリーチ	兵庫県内で多文化共生に関わる団体・企業等	12地域27団体（実数）
	コンサルテーション	兵庫県内で多文化共生に関わる団体・個人等	5団体10名（延べ）
	研修	かみかわ国際交流コミュニティ、 神河町ひと・まち・みらい課（神河町）	2回、6名（延べ）
	伴走支援	かみかわ国際交流コミュニティ（神河町）	4回
		川西市社会福祉協議会（川西市）	6回
		神戸市地域協働局地域協働課（神戸市西区）	5回
		神戸市西区社会福祉協議会（神戸市西区）	2回
プログラム②	外国人の医療アクセスを改善するための地域アクターとの個別協議	丹波市国際交流協会	1回、2名
		丹波市議会議員	1回、2名
	外国人の医療アクセスを改善するための多機関ネットワーク準備会	丹波市国際交流協会	1回、9名
		丹波市まちづくり部人権啓発センター人権推進係	
		丹波市健康福祉部健康課	
	医療通訳制度導入のための先進地視察	丹波市社会福祉協議会	1回、5名
		丹波篠山市市民生活部地域振興課	
		丹波篠山市保健福祉部長寿福祉課	
プログラム③	「社会福祉×多文化共生」連携事例ヒアリング	丹波篠山市消防本部救急課	1回
		鹿児島県社会福祉協議会	1回
		さんだ多文化ふくふくネットワーク会議 （三田市社会福祉協議会・三田市国際交流協会）	1回
		三木市社会福祉協議会・三木市国際交流協会	1回

過去3年間収入比較

2024年度のPHD協会の運営について報告します。

2024年度決算

正味財産増減計算書

自2024年度4月1日・至2025年度3月31日（単位：円）			
経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,467,168	研修事業費	24,012,106
特定資産運用収入	350,000	啓発事業費	16,812,607
事業収入	4,506,700	管理費	5,132,542
寄付収入	16,015,835		
会費収入	2,503,084		
助成金・補助金収入	10,379,072		
受取利息・配当金	2,023		
災害救援寄付金収入	0		
雑収入	541,475		
経常収益計	39,765,357	経常費用計	45,957,255

貸借対照表 2025年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,507,361	流動負債	573,286
固定資産	335,778,469	固定負債	5,612,900
（うち基本財産として266,388,150）		正味財産	334,099,644
資産合計	340,285,830	負債及び正味財産合計	340,285,830

役員（2025.6.～）

理事会

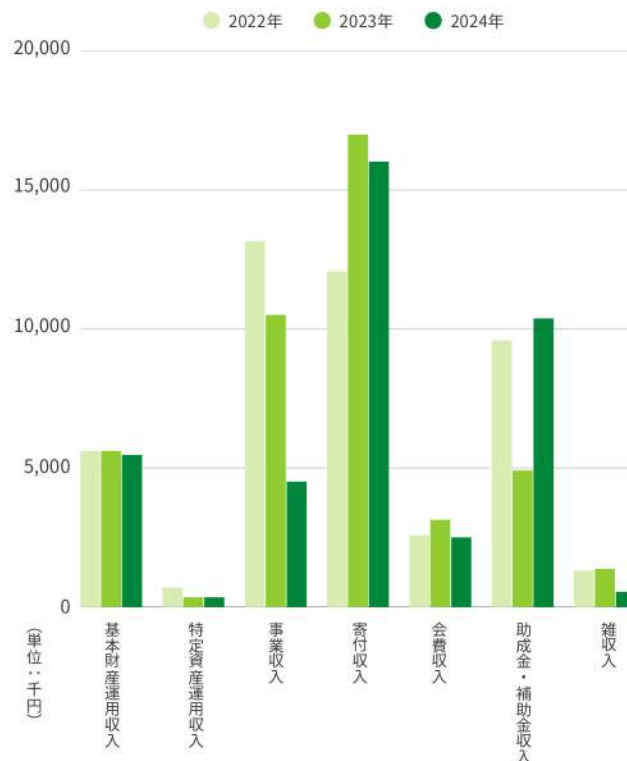
理事長	水野 雄二	社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団	理事長
理事	尾上 尚司	公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団	理事長
理事	小林 由佳	株式会社神戸新聞社	論説委員
理事	坂西 卓郎	公益財団法人PHD協会	主任主事
理事	堀見 彰浩	兵庫県産業労働部	次長 兼 国際局長
理事	滝澤 功治	神戸海都法律事務所	弁護士
理事	丸尾 研一	株式会社エムエスケイ	代表取締役
理事	吉井 久美子	有限会社環境科学研究所	代表取締役
監事	飯田 健一	飯田会計事務所	公認会計士 税理士
監事	冬頭 佐智子	生活協同組合コープこうべ	地域活動推進部 統括部長

顧問

顧問	安平 和彦	はりま法律事務所	弁護士
顧問	橋本 一豊	株式会社神戸マツダ	代表取締役会長

評議員会

井上 真二	公益財団法人神戸YMCA	顧問
岩坂 二規	関西学院大学院教育学研究科	准教授
寒者 恵	元三木市職員	保健師/保健衛生指導者
寺田 正文	てらだ農園/農業指導者	
納堂 邦弘	ミカタスイッチ株式会社	代表取締役/元PHD協会職員
秦 紳一郎	元米山記念奨学委員長	
橋本 恵子	社会福祉法人聖和共働福祉会	理事長
宮田 泰子	公益財団法人神戸YWCA	理事



運営協力委員会

赤木 裕之	兵庫県小学校長会	会長
伊勢田 佳博	一般社団法人兵庫県信用組合協会	常務理事 兼 事務局長
一幅 孝明	兵庫県町村会	事務局長
大角 謙二	兵庫県立学校長協会	会長
大西 巧	一般社団法人兵庫県信用金庫協会	常務理事
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会	会長
川本 竜司	JOCV近畿地区兵庫OB会	理事
神吉 泰彦	高砂にPHD研修生を迎える会	
喜多野 章夫	喜多野診療所	院長
草地 とし子	社会福祉法人頌栄会	評議員
塩谷 元宏	兵庫県森林組合連合会	専務理事
白崎 大介	神戸キワニスクラブ	福祉広報委員長
杉田 健治	社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会	事務局次長(福祉推進担当)
高藤 真理	元大学職員	歯科衛生士/歯科衛生指導者
高松 智美	一般社団法人兵庫県歯科医師会	総務部 総務企画課 課長
田中 稔彦	兵庫県漁業協同組合連合会	専務理事
谷勝 公代	兵庫県連合婦人会	会長
都出 千尋	一般社団法人兵庫県医師会	事務局長
猶原 信男	ミャンマー関西	代表
中井 弘慈	一般社団法人兵庫県私学総連合会	事務局長
中田 豊一	NPO法人ムラのミライ	シニアコンサルタント
長崎 理恵	インドネシア語通訳ボランティア	
西村 早百合	Group Taytay	
古川 雅一	兵庫県中学校長会	会長
ヘラフロインドリーブ上原	国際ソロプチミスト神戸	会長
松本 秀文	兵庫県連合自治会	事務局長
三木 良太	株式会社神戸新聞社	報道部長
南 喜樹	一般社団法人神戸銀行協会	専務理事
本山 秀治	公益財団法人老人クラブ連合会	事務理事 兼 事務局長
持木 由美	一般社団法人ガールスカウト兵庫連盟	書記
森口 育子	兵庫県立大学	名誉教授
山崎 美和子	一般社団法人兵庫県薬剤師会	事務局長

助成金・受託事業

日本労働組合総連合会 2024年度「愛のキャンパ中央助成」

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」のため、NGOなどの事業の支援を目的とする本助成事業より、SDGs達成のためのPeace研修生育成とシェアハウスを通じた難民・困窮外国人支援事業へのご支援をいただきました。

中央共同募金会「居場所を失った人への緊急活動応援助成」第8回

赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーンとして公募された本助成を受け、生活に困窮する外国人のための相談支援・同行支援・伴走支援、食料・生活物資支援、日本語学習支援を実施しました。

神戸まちづくり六甲アイランド基金

神戸市における国際的かつ文化的なコミュニティづくりに資する活動の支援を目的とする本助成を受け、生活に困窮する外国人のための食料・生活物資支援事業を実施しました。

アジア・コミュニティ・トラスト2024年度

「アジア留学生インターン受入れ助成プログラム」

アジアからの留学生に市民組織でのインターンシップの機会を提供し、習得した知見及び技能を母国の社会で活用し、社会開発事業等の発展に資することを目的とする本助成を受け、ベトナム人大学生1名のインターンを受け入れました。

兵庫県国際交流協会 ウクライナ避難民地域共創事業

兵庫県内在住のウクライナ避難民と地域住民の相互理解と交流の場づくりを支援する本助成を受け、ウクライナを知り、体験するイベント「ウクライナ避難民とつくるUKRAINE DAY」を開催しました。

今井記念海外協力基金 国際協力NGO助成対象事業

開発途上国における教育、医療等の分野における教育、医療等の分野における協力を資する活動の支援を目的とする本助成を受け、ミャンマー研修生の研修事業を実施しました。

国際協力機構(JICA) NGO等提案型プログラム

国際協力機構(JICA)からの委託事業として、「多文化共生に資するコンサルテーションを通じたNGO等の能力強化プログラム」を開始しました(事業期間2024年4月～2026年5月)。

外務省 令和6年度「NGOインターン・プログラム」

2023年度に引き続き「NGOインターン・プログラム」の受入団体に選定されました。本プログラムは、若手人材の育成を通じてNGOによる国際協力を拡充するための制度です。

事務局・スタッフ (2025.4.～)

事務局



坂西 卓郎
常務理事・事務局長



中村 朱里
総務・ファンドレイジング担当



内堀 友晴
研修担当



井上 遼香
広報・啓発担当



濱 宏子
みんなのいえ施設長/
研修担当



結城 花菜
居住支援担当



山本 真記子
研修担当/手話指導員

ミャンマー現地スタッフ



モー マ
2013年度第31期生



サンティダエー
2015年度第33期生



ティダチョー(マーチョ)
2016年度第34期生

ネパール現地スタッフ



ランマヤ・タマン
2012年度第30期生



スシラ・バセル・サルキ
2019年度第37期生

インドネシア現地スタッフ



ダスウィル
1999年度第17期生



アルウィ ファドリ
2001年度第19期生



ダルミアティス (ミミ)
2002年度第20期生



アフリタ
2004年度第22期生



マスラル アリソン
2005年度第23期生



ダリスマン
2013年度第31期生

受賞歴

- 1981 岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
- 1982 神戸新聞平和賞
- 1982 兵庫県社会賞
- 1988 国際交流基金、地域交流振興賞
- 1990 神戸国際交流賞
- 1991 毎日国際交流賞
- 1993 岩村先生、マグサイサイ賞受賞
- 1995 第4回環境水俣賞受賞
- 1996 外務大臣賞受賞
- 1997 今井理事長、兵庫県功労者表彰
- 2001 神戸新聞社社会賞
- 2011 井植文化賞
- 2013 かめのり賞
- 2014 神戸キワニスクラブ社会貢献賞
- 2022 第5回はなやかKANSAI魅力アップアワード社会的効果部門特別賞

PHD 協会の
各種 SNS は
こちらから
ご覧ください。



HP: <http://www.phd-kobe.org>

PHD
PEACE, HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT
公益財団法人PHD協会

〒653-0836
神戸市長田区
神楽町3丁目7-4
TEL: 078-414-7750
FAX: 078-414-7611

